

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2019年3月21日

所属学部／研究科・学科／専攻	経営学部会計学科
留学先国	オーストリア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ウィーン大学 現地言語: Universität Wien
留学期間	2018年10月～2019年1月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	経営学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年2月23日
明治大学卒業予定年	2020年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:10 月上旬～1 月下旬 2 学期:3 月上旬～6 月下旬 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	91715
創立年	1365 年

留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	円	備考
授業料	0	0 円	大学間協定留学
宿舍費	1900	240000 円	€380*4 + 80(9月) + 300 (2月)
食費	1000	約 125000 円	自炊を心がけた
図書費	78	約 9800 円	半年間の学生定期券
学用品費	0	0 円	
教養娯楽費	200	約 25000 円	メタルバンドのライブ、カフェ等
被服費	0	0 円	
医療費	0	0 円	
保険費	422	約 53000 円	形態:東京海上日動、明大サポート
渡航旅費	1280	約 160000 円	トルコ航空、イスタンブール経由
雑費	400	約 60000 円	
その他	920	円	語学学校(9月の3週間)
その他		-320000 円	JASSO 奨学金
その他		-150000 円	留学奨励助成金
合計	2449	310000 円	

## 渡航関連

**渡航経路:** 成田ーイスタンブールーウィーン

渡航費用

チケットの種類	エコノミー
往路	80000
復路	80000
合計	160000

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

HIS を利用しました。

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

間借りをしました。

2)部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数 )

3)住居を探した方法:

フェイスブックのグループに参加したり、不動産や学生寮のページに問い合わせで予約状況をうかがっていました。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

間借りや WG(シェアハウス)は気疲れするのでおすすめしません。3 月あたりから学生寮に問い合わせるのが確実です。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった  
 利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

タンデムパートナー。相談窓口は留学生事務室以外なかったカウンセラーがいなかったのが少し辛かったです。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

口コミと自分で実際に行ってみて治安の状況を確認しました。幸い犯罪には巻き込まれませんでした。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

日本と比べて少し遅かった印象があります。学校にある Eduroam の電波は弱く、頼りにはなりませんでした。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

VISA カードを用いて、定期的に ATM から現金をおろしていました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

特になし

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

## 卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
キャリアフォーラム(就職イベント)、企業の説明資料、外資就活.com(就職支援サイト)
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
現時点で希望する業界は、外資系の金融情報サービス業界です。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
帰国後に取り組み始めたので、少し過酷です。情報も少なければ、機会も少ないように感じているので、3年次に留学に行かれる方々は、3年の前期に就活系のイベントに参加しておくことをおすすめします。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
16単位	<input checked="" type="checkbox"/> 未定 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
ABWL Marketing	未定
科目設置学部・研究科	経営学部
履修期間	2018年10月～2019年1月
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ゼミ形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Ziva Kolbl
授業内容	グローバル企業の用いているマーケティング戦略、手法について
試験・課題など	プレゼンテーション1回、中間テスト、期末テスト
感想を自由記入	教員含め、授業に参加している全員が活発にディスカッションを通して交流しており、とても充実していた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Special Topics in Production, Logistics, SCMs: Software tools in decision support system		未定
科目設置学部・研究科	経営学部	
履修期間	2018年10月～2019年1月	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	ゼミ形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に90分が1回	
担当教授	Briseida Sarasola	
授業内容	プログラミング言語 Python を用いて巡回セールスマン問題に取り組む授業	
試験・課題など	課題4つ、テスト2つ、期末テスト、プレゼンテーションを含むプロジェクト1つ	
感想を自由記入	以前からプログラミングに挑戦してみたいと思っており、この授業を通して Python に対する理解を深めることが出来たため、履修してよかったと感じた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Intro to the art and the culture of Gamelan		未定
科目設置学部・研究科	音楽学部	
履修期間	2018年10月～2019年1月	
単位数	5	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	ゼミ形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に90分が1回	
担当教授	I Wayan Eka Putra Udyana	
授業内容	ガムラン音楽とその文化に対する理解を深める授業。演奏のレッスンがメイン。	
試験・課題など	筆記テストが1回、コンサート2回	
感想を自由記入	在オーストリアインドネシア大使館後援の授業だったため、プログラムが非常に充実していた。文化背景に関する資料も配布され、非常に興味深かった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Sprachenzentrum Deutsch Intensivsommerkurs A1/2		未定
科目設置学部・研究科	ウィーン大学言語センター	
履修期間	2018年9月(3週間のプログラム)	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	ゼミ形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に180分が5回	
担当教授	Irina Koch	
授業内容	ドイツ語の授業。基本的な語彙、文法などを学ぶ。	
試験・課題など	毎日教科書3ページとレジュメ2枚の課題、期末テスト	
感想を自由記入	授業がすべてドイツ語で行われるため、最初は語彙力のなさや先生の方言が相まって本当に辛かったが、このプログラムを修了してからドイツ語でのコミュニケーションが億劫ではなくなった。	

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	経営学部のゼミ試験
8月～9月	留学に行きたくなる
10月～12月	IELTS スコア取得、英検取得、出願
2018年 1月～3月	留学先からの受け入れ許可が下りる
4月～7月	奨学金合格、パスポート更新、クレジットカード申請
8月～9月	渡航、語学プログラム履修、住居探し
10月～12月	セメスター始まり、中間試験
2019年 1月～3月	期末試験、帰国
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	新しい文化、そして言語を学ぶには実際に文化圏の中に入って生活するのが一番手っ取り早いと考えたためです。また、私が勉強している経営学という分野にはドイツ経営学という概念が存在し、それに興味を持ったためです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	ドイツ語力をもう少し磨いておけばよかったですと感じました。渡航前までにゲーテドイツ語検定のA2またはB1を取得していたら言語力の向上はより著しいものになったのではないかと考えています。
この留学先を選んだ理由	中学より学んできた英語と、学部で第二外国語として学んだドイツ語と母語である日本語の3言語を用いた生活をしてみたかったためです。
大学・学生の雰囲気	経営学部の建物はもともと保険会社のビルだったということもあり、シンプルです。食堂以外はあまり学生の交流場のようなものではありませんでした。本キャンパスの方がより大きく、施設も充実していました。
寮の雰囲気	現地では間借りをしました。建物自体は戦前に作られたもので、少し壁が薄かったです。しかし、ウィーン市内にある学生寮は新しいものが多いため、そのような心配はなさそうです。
交友関係	正規生とは主に授業内で交流をしていました。留学生に関しては、学期前のドイツ語コースで知り合った学生と主に仲良くしていました。
困ったこと、大変だったこと	環境の違いによるストレスのせいか持病が少し悪化した時期もあったので、その時は身体的にも精神的にも堪えました。
学習内容・勉強について	私は経営学部会計学科所属なのですが、現地では自学科において履修できないものに取り組んでみようと思い、経営工学と金融工学の勉強に励みました。専門用語や久しく取り組んでいなかった数学の要素がそれらの分野には多く含まれ、課題の解決にもすごく時間がかかりましたが、幸い英語の方は問題なかったため、授業内に限らず、積極的に質問することで理解力を深めました。
課題・試験について	学期中の課題量は比較的多いと感じましたが、学期中も成績が随時更新されていくシステムだったので、それを確認することでモチベーションを保てました。勉強は主に授業のあった日の午後に行っていました。

大学外の活動について	ウィーン大学日本語学科の学生とタンデムセッションを行うことでドイツ語力向上を図りました。また、積極的に市内を散策することで現地の文化に対する理解を深める試みを行いました。時折旅行などにも行くことでリフレッシュしていました。
留学を志す人へ	留学をすると異文化理解や語学力、そして日本文化に対する客観的な視点など、多くの力を養えます。大げさかもしれませんが、これらは確実に自分の未来に生きてくると感じています。留学は完全無料というわけにはいきませんが、奨学金も充実していますので、ぜひ挑戦してみてください。留学には確実にそれ以上の価値があります。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中		授業	授業	授業			
	起床	授業	授業	買い出し	起床	起床	起床
午後	課題	昼食	昼食	昼食	タンデム	美術館	課題
	課題	勉強	勉強	授業	タンデム	美術館	課題
夕刻	ボイスチャット	ボイスチャット	ボイスチャット	勉強	タンデム	カフェ	課題
夜	趣味	趣味	交流会	ボイスチャット	ボイスチャット	ボイスチャット	課題